

三沢市地域公共交通会議 会議録

会議名称	平成30年度 第1回会議					
開催日時	平成30年5月23日(水) 13時30分～15時00分					
場 所	三沢市役所本館4階 大会議室					
出席者	会 長	小渡 章好	委 員	立崎 裕輔	委 員	宮古 直志
	委 員	沼田 巖	委 員	橘 イト	委 員	伏見 憲子
	委 員	木村 高広	委 員	山本 隆史	委 員	赤石 佳昭
	委 員	蛭名和也(代理)	委 員	鹿内孝一(代理)	委 員	向中野 貢
	委 員	山本 剛志	委 員	山本 優	委 員	高橋 常幸
	オブザーバー	竹浪 敏幸				
	事務局	三沢市：村井参事、根岸課長補佐、和田係長、中村主査、富田主査				
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 議 事</p> <p style="padding-left: 20px;">(議案第1号) 役員選出</p> <p style="padding-left: 20px;">(議案第2号) 平成30年度事業報告</p> <p style="padding-left: 20px;">(議案第3号) 平成30年度収支決算報告</p> <p style="padding-left: 20px;">(議案第4号) 平成31年度事業計画(案)</p> <p style="padding-left: 20px;">(議案第5号) 平成31年度収支予算(案)</p> <p style="padding-left: 20px;">(報告事項1) 三沢市コミュニティバス企画切符の運用について</p> <p>5 閉 会</p>					
会議の経過及び審議結果(概要)						
<p>1 開 会</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 市長挨拶</p> <p>4 議 事</p> <p>・議案第1号 役員選出</p> <p style="padding-left: 20px;">事務局より仮議長として三沢市政策部長 山本委員を指名。</p> <p>【会長選出】(委員の互選により選出)</p> <p style="padding-left: 20px;">沼田委員：昨年に引き続き、小渡委員を推薦します。</p> <p style="padding-left: 20px;">(一同)：異議なし。</p> <p>【副会長選出】(会長の推薦により選出)</p> <p style="padding-left: 20px;">小渡会長：三沢市社会福祉協議会 宮古委員を推薦します。</p> <p style="padding-left: 20px;">(一同)：異議なし。</p> <p>【監事選出】(委員の互選により選出)</p> <p style="padding-left: 20px;">(一同)：事務局一任</p>						

事務局：立崎委員と沼田委員にお願いしたい。

(一同)：異議なし。

・議案第2号 平成29年度事業報告

事務局から報告資料を説明

・議案第3号 平成29年度収支決算報告

事務局から決算書を説明し、監事より監査報告がなされた。

《質疑等》

なし

・議案第4号 平成30年度事業計画(案)

事務局から事業計画(案)を説明。

・議案第5号 平成30年度収支予算(案)

事務局から予算書(案)を説明。

《主な意見等》

小渡会長：あすチャレ！アカデミーの実施時期はいつか。

事務局：7月30日を予定しており、午前と午後実施するが、交通事業者と午前にするか午後にするかを相談する。どちらか空いた方は、一般の方にセミナーを受けていただく。

小渡会長：交通事業者とは。

事務局：十鉄、タクシー協会、空港関係者にも声をかける予定。

伏見委員：あすチャレ！アカデミーというのは、どんな内容のものか。

事務局：車いすユーザーのパラリンピアンの方を講師として、福祉の目線からではなく障害とはどのようなものかというのを学んでもらう。

小渡会長：日本語を使えない方がバス乗っても大丈夫か。

十鉄：外国人の方が一人で乗ってくることはあまりない。ツアーガイドや、10名単位で利用するケースが多く、その中には日本語を話せる人がいる。なかなか乗務員へ対応をしてもらうというのは、現状では厳しいかもしれない。

木村委員：今年度の交通会議の開催について、想定される案件は。

事務局：10月に路線の再編を行うが、遅くとも8月には委員のみなさんに諮り、具体的な路線の時刻や、どこに新しいバス停ができるかなど、相談をしたうえで、運輸局と書類のやりとりを行う。その会議を8月に行い皆さんに諮る。2月については、その後の報告をさせてもらう。

・報告事項1 三沢市コミュニティバス企画切符の運用について

《主な意見等》

山本委員：企画切符の実証運行の期間はどのくらいか。

事務局：最低2年は必要と考えている。

小渡会長：どのように周知するのか。

事務局：マスコミ、広報、マックテレビ、ホームページを利用する予定。

5 閉 会

以 上